

冷戦後の今、なぜ新ガイドラインのですか。

石破 アジア地域の不安

定要因は増している。ぶっつけ本番だった日米協力の在り方を、基地提供だけでなく、シビリアンコントロールという憲法の範囲内で何ができるのかを、明確に

# 双論 '98

したのが今回の見直しだ。水島 日本の安全保障で、米国に踏み込み過ぎた協力をした場合、アジアの中で外交的なカードを失いはしないか。ガイドラインの持つあいまいさは憲法の秩序に対する負のリアクションをたくさん含む。

## 水島朝穂氏

# 際限なき対米協力に道

「集団的自衛権の議論から、実質的な改憲という指摘もあります。」

石破 新ガイドラインで「平和と安全に重要な影響を与える」かどうかの認定いかんで、際限なく広がる可能性が高まる。

石破 ミサイルはどこにでも飛んでくる。一線を画すと思っていたらそこは戦

## 日米「新指針」

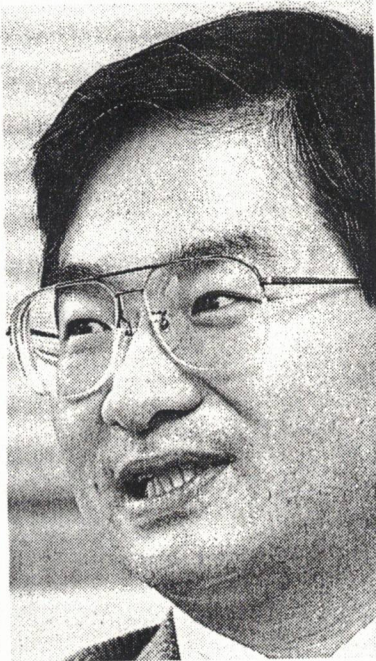
うのは当たらない。開地域になった、というこ

水島 船舶検査、だ捕なども起こり得る。戦闘に巻き込まれる危険を回避する

水島 日米がアジア地域の周辺事態措置法案では「一線を画す」が「活動の期間を通じて戦闘行為が行

## 憲法学者

早稲田大学法学部教授



ラインはメニューを示したもので、義務規定はない。周辺事態の認定を含め日本が主体的に行い、要請を断

石破 「周辺」など安全保障の概念を示す際、一種

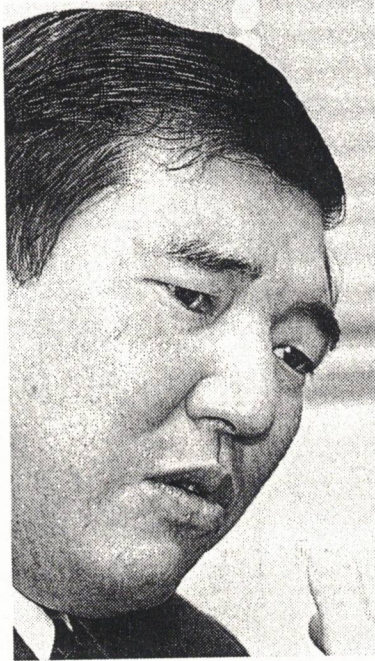
水島 NGOや民間、自治体ベースでの交流が広がり、国連も地球環境など国家を超えた国際的公共の福祉に向かい合うようになってきた。ガイドラインはこの流れに逆行する。ここま

ラクを攻撃しようとした時、周辺諸国でさえ基地提供を拒否した。各国が同盟

石破 アジアには中国に対する脅威があり、日米安保体制をきちんとしてほしい、という声は強い。ガイ

## 衆院議員（鳥取1区）

自民党安全保障調査会副会長



水島 一国の存亡にかかわる大きな問題をほらむ。緊急性、機動性を重んじなければならぬ。

## 石破茂氏

# 文民統制の基本線守る

水島 「周辺」など安全保障の概念を示す際、一種のファジーさはつきまとう。どうしたら戦争に巻き込まれないかというための仕組みだ。このことを国民をほはじめ周辺各国にも明確に伝えなくてはならない。

た。その意味で一定の枠をはめてきた国会の役割は重要。条約改定に等しい内容を、手続きを踏まずあいまいな文章で現場の判断にゆだねるのは、憲法違反という以上に危険性を感じる。

石破 「周辺」など安全保障の概念を示す際、一種のファジーさはつきまとう。どうしたら戦争に巻き込まれないかというための仕組みだ。このことを国民をほはじめ周辺各国にも明確に伝えなくてはならない。

水島 「周辺」など安全保障の概念を示す際、一種のファジーさはつきまとう。どうしたら戦争に巻き込まれないかというための仕組みだ。このことを国民をほはじめ周辺各国にも明確に伝えなくてはならない。